

2017年度 生活クラブのGMOフリーゾーン運動

生活クラブ生協（神奈川）理事長／生活クラブ連合会理事 藤田 ほのみ

生活クラブでは、遺伝子組み換え作物を「作りたくない」「食べたくない」生産者・消費者の共感を広げていく活動として、GMOフリーゾーン運動に取り組んでいます。GMOに関連する活動としては他にも、GMナタネの自生調査と生物多様性を守る運動、GM食品表示制度改正の運動などにも積極的に取り組んでいます。

GMOフリーゾーン面積は2017年度、43.9ha増加して63,519.2 haになりました。

サポーター登録では、各地域での呼びかけがすすみ、今年度は、個人は1,336人が新たに登録して8,244人に、加工・流通・店舗の事業者は13事業所が新たに登録して37事業所になりました。

GMOフリーゾーン面積 (ha)

都道府県	2016年度末	2017年度	2017年度末
北海道	42,554.0		42,554.0
青森県	43.5		43.5
山形県	4,628.9		4,628.9
岩手県	104.4		104.4
福島県	2.4		2.4
宮城県	7,500.0		7,500.0
新潟県	80.0		80.0
栃木県	2,011.2		2,011.2
茨城県	246.5		246.5
群馬県	111.2		111.2
埼玉県	318.3	10.3	328.5
千葉県	467.8		467.8
東京都	59.4	30.8	90.2
神奈川県	190.9		190.9
山梨県	56.7	1.7	58.4
愛知県	2,889.1		2,889.1
長野県	268.6	1.0	269.6
三重県	191.5		191.5
滋賀県	267.9		267.9
奈良県	218.1		218.1
和歌山県	12.2		12.2
京都府	1.5		1.5
大阪府	584.9		584.9
兵庫県	25.1		25.1
奈良県	5.0		5.0
岡山県	0.0		0.0
鳥取県	10.0		10.0
島根県	30.0		30.0
愛媛県	135.0		135.0
高知県	1.8		1.8
福岡県	315.3		315.3
長崎県	30.0		30.0
熊本県	114.2		114.2
合計	63,475.3	43.9	63,519.2

サポーター（個人）人数（人）

都道府県	2016年度末	2017年度	2017年度末
北海道		1	1
青森	25	18	43
山形県	36		36
岩手県	181	83	264
宮城県	1		1
栃木県	613		613
茨城県	834		834
群馬県	130	5	135
埼玉県	335	304	639
千葉県	1,363	264	1,627
東京都	2,261	453	2,714
神奈川県	2		2
山梨県	17	4	21
愛知県	165		165
長野県	19	2	21
静岡県	293		293
京都府	0	131	131
大阪府	404	40	444
兵庫県	140		140
滋賀県	79	31	110
鹿児島県	10		10
合計	6,908	1,336	8,244

*サポーター（加工・流通・店舗）は、2017年度は12事業所が増加し、累計で36事業所になりました。

生活クラブでは、地域ごとに工夫して、GMOフリーゾーンとサポーターの登録を呼びかけています。2017年度の活動から、いくつかの事例をご紹介します。

●サポーター登録の呼びかけ

東京では、ブロックごとに管轄内に事務所がある提携生産者にサポーター登録を働きかけ、生活クラブの配送センター2件を含む12事業所が新たに登録しました。

千葉では、「食材は、だれが、いつ、どのように作ったかがわかることが大切だと思う」など、単協独自にチェック項目をつくって、「1つでも☑が入ったあなたは、GMフリーゾーンサポーターです」とサポーター登録を呼びかけ、264人が登録しました。

岩手では、環境委員がサポーター登録用紙を12月まで持ち歩き、80名を目標に呼びかけを行なった結果、83名が登録しました。

青森では、サポーター宣言した方へ、環境チームが手作りしたGMフリーゾーンサポーター宣言オリジナル缶バッジをプレゼントしました。

大阪では、NON-GM部会でGMOフリーゾーンサポーター宣言に登録を呼びかける時に掲示するポスターを作製し、登録用紙を提出された方に渡す名刺大のカードを作成しました。



青森の缶バッジ（上）と大阪の名刺大カード（下）

- GMOフリーゾーンサポーターになったことを、友人に伝えます。
- 生活クラブのなたね油や醤油、大豆加工品を利用し続けていきます。
- 生活クラブの畜産物(肉、牛乳、卵)を利用します。(配送の方は、)予約して利用します。
- 生活クラブのお米を予約して食べます。
- 生活クラブの青果物を継続して利用します。
- GM対策済みマークのついた消費材を積極的に利用します。

多摩南生活クラブまちづくり委員会作成「GMOフリーゾーンサポーター登録票」(左が表面、右が裏面)

●生活クラブ愛知の活動

生活クラブ愛知では現在、1生産者と組合員9人がGMフリーゾーン宣言しています。今年度の活動として、9人の組合員に、GMフリーゾーン小看板をご自分の農地に立てることを打診した結果、5人が立てることを希望されました。環境委員会で看板のデザインを検討し、サイズの希望を取り、いま、業者と製作の調整中です。

また、GMフリーゾーン宣言している音羽米生産者の田んぼに、生活クラブと生産者として2010年に建てた大看板を塗りなおすことにしました。現在、これらの2つの活動のために、カンパを組合員に募っています。



愛知の看板デザイン案